

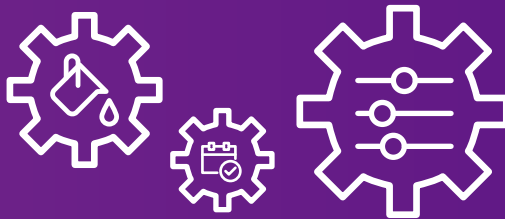
作業効率の向上:

塗装ブースプロセスの変革

塗装に費やす時間を増やし、無駄を減らす



自動車補修の世界では、塗装ブースがしばしばボトルネックとなり、修理プロセス全体を遅らせることがあります。この重要な工程を効率的に管理することで、作業場の生産性と収益性を大幅に向上させることができます。効率を改善するためには、必ずしも新しい設備に投資する必要はなく、既存の作業工程を再考し、生産を最大化するためのより戦略的な方法を採用することが重要です。以下は、塗装部門の可能性を最大限に引き出すための方法です。



パーツを外して塗装

車両からパーツを取り外してから塗装することで、ブースのスペースを大幅に確保できます。保険がこの方法をカバーしていなくても、効率と生産性の長期的な向上には価値があります。

パーツを付けたまま

作業1: 車両にドアとフェンダーを残したまま
作業2: 別の車両のバンパー



パーツを外す

作業1: 車両からドアとフェンダーを取り外す
作業2: 別の車両のバンパー
作業3: 第三の車両のフェンダーとフード



ブーススケジュールの作成

専用のブーススケジュールは、塗装作業場の生産性を最大化するために不可欠です。平均的な作業場では1日に約4回のブースサイクルを完了します。各ブースの側面にホワイトボードを取り付け、翌日のブースサイクルを計画し、柔軟性を持たせるための追加サイクルや、日中に入ってくる小さな部品のためのフィラーセクションを含めます。

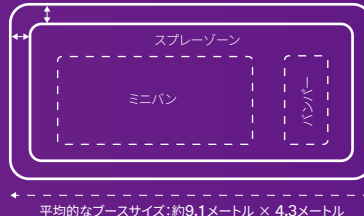
フロアステージング

ブース外の床に「スプレーゾーン」をテープで区切ることによって、塗装担当者が部品をより効果的に整理することができます。「スプレーゾーン」は通常、各壁から約3フィート（約90cm）離れた位置に設定され、塗装作業のための十分なスペースを確保します。これにより、塗装担当者は自分が使えるスペースを正確に把握でき、ブース内を過密にすることなく効率的に部品を配置することができます。

異なる色の部品は、色の混入を防ぐために少なくとも3フィート（約90cm）離れて配置する必要がありますが、同じ色の部品であれば、より近い距離に配置しても構いません。

| | | |
|---------|---|----------------------|
| Cycle 1 | Malibu - 6 hours Altima Bumper - 3 hours Mazda Mirror - 1 hour | Refinish Hours 10 |
| Cycle 2 | Caravan - 8 hours Civic Bumper - 3 hours | Refinish Hours 11 |
| Cycle 3 | Silver BMW - 10 hours | Refinish Hours 10 |
| Cycle 4 | Ram Truck Box and Cab - 18 hours | Refinish Hours 18 |
| Cycle 5 | Accord - 6 hours Equinox - 7 hours | Refinish Hours 13 |
| Filler | Taurus Bumper - 3.6 hours Buick Mirror - 1 hour Quest Bumper - 3 hours Tundra Tailgate - 4 hours | |

スプレーゾーンは通常、ブースの各壁から約90cm離れています



ムダの最小化 (Minimizing Waste)

多くのボディショップでは、塗装エリア内に十分な構造や仕組みが整っていません。その結果、作業の遅れや非効率が発生し、最終的には修理プロセス全体の遅延につながります。戦略的な手法を導入することで、作業効率を高め、ムダを減らし、資源の使用を最適化することができます。以下では、塗装工場が効率を最大化し、収益性を向上させるためのヒントを紹介します。



材料の使用: 塗料を必要以上に調合すると、資源の無駄やコストの増加につながります。必要な分だけを調合することで効率を高めることができます。塗料メーカーのミキシングソフトウェアを使用すれば、最適な調合量を算出できます。また、*ティンティングプライマー（下地に色を付けるプライマー?）を使用することで、十分なカバレッジを得るために必要なベースコートの量を減らすことができます。

スプレーガンの設定: 適切なスプレーガン設定により、塗着効率を最大化し、塗料の無駄を最小化できます。圧力が高すぎる、パターンが広すぎるといった不適切な設定は、オーバースプレーや塗着量の低下を招き、著しい効率低下につながります。

塗装の手法: パネルから適切な距離を保ち、トリガーの開閉を適切に行うことでオーバースプレーを防止できます。各コート（層）ごとにカバレッジを確認することで、不要な重ね塗りを避けることができます。

3M™ パフォーマンス スプレーガン システムで効率をさらに高め、業界をリードする高水準の塗着効率を体感してください。



go.3M.com/jp-spraygun

複雑化する塗装プロセスを、よりシンプルに。今すぐスマートな塗装を始めましょう。